

1. 風向きと空港の話

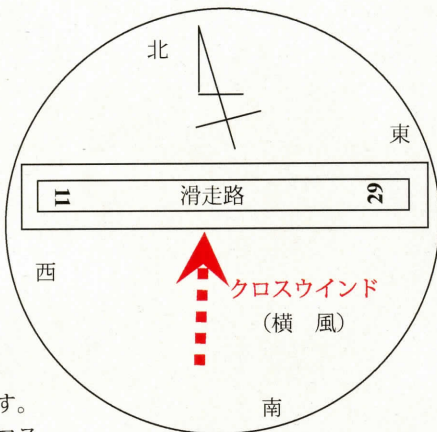
空港の滑走路は、どの方向でできているのだろうか。滑走路は一般的にその土地の風向きを計測し一番多い方向で決定されています。

その訳は、飛行機が風に向かい離着陸するためです。横風を受けながらの着陸は非常に危険です。

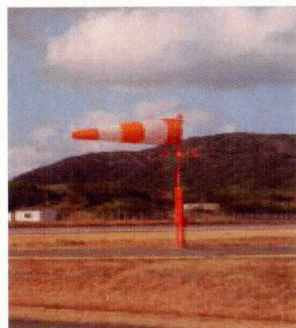
右図は、新島空港の滑走路略図です。11及び29とあるのは、360度方位110度と290度のことです。進入角度を表示しています。

このため新島空港でも横風（クロスウインド）の場合は欠航する場合があります。新島空港（略図）

では、有視界での着陸時、パイロットは何を見て風向きなどを判断するのでしょうか。もちろん、その場での気象状況は、無線により連絡を受けているのですが、今まさに着陸するときの風の状況を知らせるのは、空港にある「吹流し」なのです。吹流しは、風の方向ばかりでなく、風の強さも判断できます。そのために、空港にある吹流しは、長さが3.5mもあり上空からの視認もよくできるようになっています。



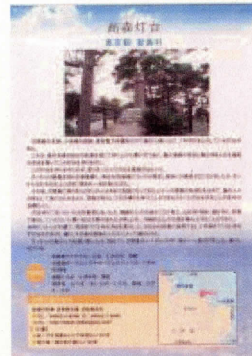
【風速5 (m/秒) 時の吹流し】



【風速15 (m/秒) 時の吹流し】

2. 未来に残したい漁業漁村の歴史文化財産百選

「式根島（高森灯台）」



水産庁では、漁村の魅力を掘り起こし交流をもっと盛んにするため、漁村に残る歴史的・文化的に価値の高い施設や現在では貴重な工法や様式の施設など、未来に残したい漁村の施設を漁業漁村百選として選定しました。

その中に、「東京都・新島村（高森灯台）」が選ばれ、全国漁港漁場協会のホームページで紹介されていますので、みなさん、見てみてください。

<http://www.gyokou.or.jp/100sen/100kekka.htm>

3. 式根島港の災害

昨年の台風9号の高波により、式根島港の岸壁（-7.5m）が災害を受け、岸壁の上部工のコンクリートが壊れる等の被災をうけました。（写真1参照）

また、岸壁の照明も2灯倒壊しております（写真2参照）。復旧につきましては、平成20年4月以降、随時直していきます。

みなさまには、ご不便をおかけしますが、ご協力をお願いいたします。



写真① 【式根島港岸側】



写真② 【式根島港南側】